

子ども達の笑顔あふれるクラブ

伊勢スポーツクラブ

山梨県甲府市

■クラブ概要

- 設立年月日:平成17年5月28日
- 設立経緯:県スポーツ指導者協議会甲府支部(日本体育協会公認指導者による組織)が立ち上げたクラブです。
 - ・スポーツをとおした明るい町づくり
 - ・次代を担う健全なからだと心を持った青少年の育成を目的に設立しました。
- 対象地域:伊勢小学区および近隣住民 人口10,300人
伊勢小学校生徒数392人、12学級
- 会員数:小学生、63人(男31 女32) 不定期参加の保護者
- 年間予算:20万円(自己財源率 85%)
- 連絡先:事務局長 雨宮愛子 TEL・FAX 055-252-9163
E-mail ame1491.ai33@aqua.plala.or.jp

■(1)スポーツ好きの子どもの育成を目指して

下のコメントは、クラブに参加している子どもから聞いた言葉です。スポーツを苦手だと思っていた子どもたちが、スポーツを楽しみ始めました。小学校を拠点とした、小さな小さなクラブです。子どもたちが生き生きと活動しています。

”私は始めはスポーツが苦手でしたが、スポーツクラブに入ってからスポーツが楽しくできるようになりました。… これからもスポーツを続けてスポーツを得意にしたいです。跳び箱が苦手なのでマット運動もやっていただけると嬉しいです。”
(小5年 女子)



■(2)設立のきっかけ

「伊勢スポーツクラブ」は県スポーツ指導者協議会甲府支部が主宰して設立したクラブです。会議の席である会員から「公認指導者の資格は取得したが活動の場がない、スポーツ指導者協議会として主体的に活動できることはないだろうか。」という発言がありました。その発言がキッカケとなり、検討を重ね、伊勢スポーツクラブ創設へと動き出しました。ボランティア活動であることを基本に、背伸びをせず地道な活動をとおして人と人との関わりを幾重にも築き上げるという活動の方向性が確認されました。

■(3)どんなビジョンで

スポーツをさせたいがスポ少はちょっと。子どもが運動嫌いで困る。高学年になるまでに何かスポーツをしたい。等々親や子どもたちから様々な声が聞こえてきました。そこで、特定の種目の選手育成のためでなく、誰でも参加できて、色々なスポーツを楽しみ経験することを目的としたクラブとして、スタートしました。

子どもたちは色々な初めての種目をとて楽しんでいきます。そして、スポーツによる充実感を味わい始めました。

“(同級生に比べ)色々なスポーツが私はぜんぜん出来ませんでした。でもがんばっているとちょっとずつできるようになりました。…スポーツクラブに入っていなかったらずっと家の中でごろごろして、外で遊ぶ楽しさや、スポーツを楽しむ元気、そしてなによりもいろいろなスポーツにとりくむ心がなくなっていたかもしれません。”(小4 男子)



■(4)スポ少への巣立ち

開催種目は季節種目を入れ13種目。スケート、カヌー、ビームライフル、ボウリング、野外活動、農業体験もあります。毎週2, 3種目のスポーツをローテーションで行い、子どもたちは自分の興味ある種目を選択できます。

県代表選手

ソフトテニス全国大会

”私は8月に全国大会に行くことになりました。今のテニスに出会うまで、たくさんのスポーツの経験をしてきました。そのきっかけは小学2年生から始めた伊勢スポーツクラブです。バスケット、ドッジボールなどたくさんのスポーツにふれることが出来ました。テニスに出会い私はその日から、テニスに夢中になりました。…このテニスに出会えたことをほこいに思い中学生になってからもぜひ続けていきたいと考えています。”
(小6 女子)

今年度サッカースポ少へ3人、野球へ2人、サッカークラブチームへ3人巣立っていきました。多種目のスポーツを経験する中で、自分にあったスポーツを選択できたということは、当クラブの目標の成果が出てきたと喜んでいきます。

クラブ会長談



■(5)地域への発展

地域のスポーツ広場で活動していた時のこと。いつも活動を興味深げにのぞきにきていたお年寄りが、良かったらグラウンドゴルフを指導するよ、と声をかけてくれました。さっそく道具も準備してくれ活動が始まりました。そこから子どもたちのチームが編成され、各種大会へ参加するようになりました。活動がさらに発展し、地域高齢者との交流を目的とした、グラウンドゴルフ大会が行われるようになりました。今は地域の恒例行事となりました。地区子ども育成会とも連携し、大会後は地域有志による餅つき体験会も行われ交流を深めています。このような行事が出来るようになったきっかけは、伊勢スポーツクラブの活動があったからとの評価を受けています。また学校からは、伊勢小学校地域連携推進会議への加入要請を受け、地域に貢献する、我が町のスポーツクラブとして信頼を得ています。



■アドバイザー's eye



背伸びをせず地道な活動を、のもと活動を始めて6年目のクラブです。会員も少ない、予算規模も小さい総合型スポーツクラブですが、活動の質はビッグです。スポ少へ巣立った子が、クラブの活動日に来て一緒に活動しています。下級生の面倒をよく見えています。卒業生が将来指導者としてクラブに戻り、クラブの運営に携わってくれることをクラブ関係者は期待しています。

課題を色々抱えながらも、大きくならなくても、活動が継続出来る運営を模索しています。

地方のクラブは、こんな小さなクラブの運営事例を求めています。

(進藤 芳昭 山梨県クラブ育成アドバイザー)